	No. 32 —	1 基本事務事	業名市	場高区配れ	水池築造業務	事務事業	名市均	<mark>易高区配水池</mark>	築造業務	公的	関与 3 シ	ノート作成日	平成27年	年6月18日			
	部局名		_		課名	水道課		主務課長	名	塩田英	:司 シー	ート作成者名	糸	谷文人			
	事業区分	○ 1 ソフト	事業		3 経常的事務事	業 ○ 5	5 補助:	金・負担金・支	援	業運営方	·注	直営	✓ 3 至	产部委託			
	争未应力	② 2 ハード	事業		4 施設の維持管	理 () 6	6 内部	管理事務・その	D他 ^{事 :}	未连占人	<u>2 -</u>	一部委託	4 神	前助等			
	総合計画	基本構想(政	(策) 3.	美しい環境	竟のまちづくり			実施計画		事業の開始・終了							
		基本計画(施						1 該当	平	成 25	年 ~ 平	<mark>-</mark> 成 26 年	□期間設定なし				
PLA		主要施策	(2)安心·快	適な給水の確保		0	2 非該当	根	拠法令	等水道法						
	事業の 対象・目的	対象(誰を、 何を)	市民(上	.水道加入和	⋠・市場地区・ 土成り	地区)											
		目的(どうい う状態にし	最終的	新庁舎及び新給食センターへ配水するとともに、市場地区・土成地区への安心安全な水道水を供給します。													
		たいのか)	今年度														
		具体的にどの	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
N)	① ステンレス製タンク 1,500㎡														
	事業の 活動内容	② 緊急遮断弁2ケ所															
		③ 送水ポン															
		4 配水管·i															
		⑤ 法面保護															
	数値目標	指標名	<u> </u>	計算式又	スは指標設定理由	単位		平成 25	年度	平成	26 年度	平成 27	年度	最終目標			
		配水池		ステンレス	ス製タンク 1,500		目標										
	(事業の目的	457,475		,			実績)					
	及び活動内						目標										
	容の達成度 を測る指標)						実績										
							目標										
	予算費目	会計		小米市	ᄴ싀	± <i>b</i> -	実績	<u> </u>		₄ 7 ± 1 =1	ᇝᆉᆸᇓ		配水施設費				
	了 异負日	云 訂	ि च	水道事 F成 2		款 平成	1 貸 ²	本的支出 年度決算	項 平成	27	改良費 年度予算	目 1	備考	文貸			
		国庫支出			<u>・ ・ </u>	十八	20	<u> </u>	十八	21	<u> </u>	1	1 拥				
		国庫支出金県 支出金			千円	千円					<u> </u>	=					
		原 又 山 亚 地 方 債			193,000 千円			175,000 千円			<u> </u>	=					
D			の他特定財源		85,518 千円	131,736 千円											
00		一般財源			21,482 千円			98,406 千円	 								
		計(A)	ans.	300,000 千円				405,142 千円			0 千円	_					
	人件費(B)	正職員工数:					•			人	0 千円	_					
		臨時·嘱託聯			,			,				1					
		臨時·嘱託工数·		.000 人	0 千円	0.000 ,	V.	0 千円	0.000	人	0 千円	1					
	全体事	業費(A+B)			308.822 千円			413.804 千円			0 千円	1					

チェック項目							一次評価			一次評価の説明				二次評価						
		1	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施										新庁舎及び新給食センターへ給							
	必要性	١.	主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。						0	少ない	•	大きい	水するた	め。また、市	場地区だ	\cup	少ない	•	大きい	
		2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。								•	ある	けでなくは	将来、土成地 定供給する	.区 へも 水 ために必要	. 0	ない	ある		
		3.	住民満足度の	向上のために、	現在の手	段、	方法等の改善の	余地がある。	0	ある	•	ない	石可欠で		20月220安	0	ある		ない	
		4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを 上回るサービスとなっている。							いる	•	いない				0	いる	•	いない	
	有効性	1.	施策の目的を	実現するために	こ、事業内	容が』	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえな	۰٬۱	いえる		f弁を設置して大規模災害			いえない	•	いえる	
		2.	事業内容のマン	ンネリ化など、	施策への貢	献度	が著しく高いと	こはいえない。	0	いえな	۰,۱ (いえる	きます。	て八元法火	31C/3//CC		いえない	えない ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に ・		
C		3.	市が実施する	る施策の中で舞	- 事務事業が存	0	する	•	しない			する	しない							
HECK		4.	事業の継続を	としても成果の	きない。	0	できな	۰,۱	できる				0	できない 💿		できる				
C	達成度	1.	目標設定に対	対して進捗状況	と思う。	0	目標に	に比べて劣っている 他課の事業と合わせて工事予定でしたが、他課の事業変更及					0	○ 目標に比べて劣っている						
		2.	目標設定に対	0	0	あまり」	_がっていた	ない	び追加エ	事等のため			○ あまり上がっていない							
		3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。							概ね達	をしていた。 達成している					0	○ 概ね達成している			
		4.	. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。							十分達	成している	3					● 十分達成している			
		1.	効果に比べてコストが高い。								● 適当 土成地区へ供給することにより、 土成地区施設のコスト削減が見						高い	•	適当	
	効率性	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。								•	できない	込まれま		1、日1/10人7、元		できる	•	できない	
		3.	予算・人員と	0	ある	•	ない					ある	⑤ ない							
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。								•	ない		○ ある●						
	一次評価												_	二次	評価					
	評価	正点	必要性			総合評	平価		必要性	ŧ ;			効率	性			価			
			4	4	4 比4#+±		4	A DB€	ተ <i>ላ</i> ታ		<u>4</u>	大中	4 1 © TEM	 4 └ <i>∜</i> #+± <i>(</i>	<u> 4</u>	¥		A ■ 3. ₹ ₹1	r 55	
_		う性	○ 拡大・充		比維持 以期設定	0	方法改善 廃止/休止	〇 民間委託	10寸) 拡大) 縮小	· 充実	● 現物 統合/終		, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	• •		司委 語	一	
A	יו ני	-) IT	○ NJH 11,		沙州政化		茂工/ 仆工				<u> </u>	$\overline{}$					の相違と	<u> </u>		
ACTION		面の !題	今後、計画的に送水管を整備し、早期に土成地区への供給を開始したい								二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 土成地区のコスト削減が図られ、安定した水の供給ができるとともに、阿波市の									
	と를	革案 実行 ·画									大規模災害に備えて水の確保が可能となりました。									
		員会 事項																		